「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　　指導室

<table>
<tr><td colspan="8">基本目標（1）　人を惹きつける学びあふれるまち　　～地方への新しい人の流れをつくる～</td></tr>
<tr><td colspan="8">（ア）教育</td></tr>
<tr><td rowspan="6">主な重要業績評価指標
（KPI）</td><td colspan="7">学校満足度調査「学校は楽しい・どちらかといえば楽しい」と回答した児童生徒の割合</td></tr>
<tr><td>積算方法</td><td colspan="6">年度末に行う学校評価における基礎資料となる
児童生徒アンケートから積算</td></tr>
<tr><td>基準値</td><td>R1年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr>
<tr><td rowspan="2">89%
（H30年度）</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td></tr>
<tr><td></td><td>90%</td><td>90%</td><td>90%</td><td>90%</td><td>95%</td></tr>
<tr><td></td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>90%</td><td>90%</td><td>89.7%</td><td>90.2%</td><td></td></tr>
<tr><td>目標値の変更</td><td colspan="6">目標値を達成したため、さらに高い目標値に変更を行う。</td></tr>
<tr><td>KPI達成のために
行った事業（取り組み）</td><td colspan="6">学校評価アンケートは年2回実施し、1回目と2回目の結果を比較することができます。普段の様子や教育相談等を実施し、不安等を解消できるように対応しました。また、必要に応じてカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも連携しました。</td></tr>
<tr><td>事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み</td><td colspan="6">引き続き、満足度を高める取組と並行して、残り10%の児童生徒の不満とされる部分への対応が必要です。アンケートは、すべての児童生徒が対象であり、結果を受けて、課題把握と課題解決に向けて取組を充実させて行く必要があります。年2回のアンケートの実施を通して、個々の児童生徒の状況把握が可能ですので、教育相談等を通して、取組を充実させて行きます。</td></tr>
<tr><td>推進本部会議で出た意見等</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
<tr><td>有識者会議での外部評価</td><td colspan="7">質：「楽しくない・あまり楽しくない」と回答した児童生徒の対応はしているのか。
答：年に2回のアンケートをして終わりということではなく、学級担任が該当の児童生徒の様子を注視したり、教育相談に繋げたりなど個別対応をしている。</td></tr>
</table>

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　　土木課

<table>
<tr><td colspan="8">基本目標（1）　人を惹きつける学びあふれるまち　　～地方への新しい人の流れをつくる～</td></tr>
<tr><td colspan="8">（イ）観光・イベント</td></tr>
<tr><td rowspan="6">主な重要業績評価指標
（KPI）</td><td colspan="7">長井浜公園　年間施設利用者数</td></tr>
<tr><td>積算方法</td><td colspan="6">年間施設利用者から算出</td></tr>
<tr><td>基準値</td><td>R1年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr>
<tr><td rowspan="4">新規</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td></tr>
<tr><td></td><td>12,000人</td><td>14,000人</td><td>15,000人</td><td>45,000人</td><td>45,000人</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td></tr>
<tr><td></td><td>28,161人</td><td>39,041人</td><td>41,771人</td><td>48,149人</td><td></td></tr>
<tr><td>目標値の変更</td><td colspan="6">令和5年度実績より設定しました。</td></tr>
<tr><td>KPI達成のために
行った事業（取り組み）</td><td colspan="6">新規施設利用者獲得のために、新聞・テレビメディアを通じた広報活動を実施しました(TVCMや広報ポスターの作成・配布)。また、一年を通して様々なイベントを実施(キッズワークショップ(5月)、マリンアクティビティ(7～9月)、野外映画祭(9月)、ジェルキャンドル・フォトフレームワークショップ(1，2月)、ケーキデコレーション教室(2，3月))し、施設利用促進を図りました。その結果、目標値を達成することができました。</td></tr>
<tr><td>事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み</td><td colspan="6">施設利用の促進に寄与する事業の実施等について指定管理者と協議していきます。</td></tr>
<tr><td>推進本部会議で出た意見等</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
<tr><td>有識者会議での外部評価</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
</table>

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　商業観光課

基本目標（1） 人を惹きつける学びあふれるまち　～地方への新しい人の流れをつくる～

（イ）観光・イベント

<table>
<tr><td rowspan="6">主な重要業績評価指標
（KPI）</td><td colspan="7">サイクルステーションの設置数</td></tr>
<tr><td>積算方法</td><td colspan="6">公共施設等へのサイクルステーションの新規の設置数</td></tr>
<tr><td>基準値</td><td>R1年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr>
<tr><td rowspan="4">新規</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td></tr>
<tr><td></td><td>事業開始</td><td>累計
5か所</td><td>累計
5か所</td><td>累計
7か所</td><td>累計
10か所</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td></tr>
<tr><td></td><td>累計
0か所</td><td>累計
5か所</td><td>累計
5か所</td><td>累計
5か所</td><td></td></tr>
<tr><td>目標値の変更</td><td colspan="6">サイクルステーションの設置数
（サイクルスタンドの設置、増設施設を含む）</td></tr>
<tr><td>KPI達成のために
行った事業（取り組み）</td><td colspan="6">令和5年度は公共施設へのサイクルスタンドの増設、新規の設置ができておりません。令和6年度には、長井浜公園への増設、コスメイト行橋への新規設置を行い、さらにもう3か所の増設または新規設置が行えるよう取り組みます。

・サイクルステーション既存設置　5か所：椿市地域交流センター、行橋赤レンガ館、守田蓑洲旧居、行橋総合公園、長井浜公園</td></tr>
<tr><td>事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み</td><td colspan="6">サイクル観光の誘客促進のために、サイクルスタンドの増設を行いながら、県の補助事業等を活用して、民間施設への設置協力にも取り組んでいきます。またデジタルスタンプラリーのような誘客イベントを実施し、既存のステーションやスタンド設置の店舗等をPRできるように取り組みます。</td></tr>
<tr><td>推進本部会議で出た意見等</td><td colspan="7">質：サイクルステーションが増える見込みはあるのか。
答：今年度増える箇所がある。今後は民間施設を含めて推進する。</td></tr>
<tr><td>有識者会議での外部評価</td><td colspan="7">質：利用状況、設置数に対する満足度はどのような状況か。
答：この事業によって来るサイクリストの数や満足度は把握できていない。令和5年度にアプリに行橋市のマップを掲載した。このアプリを利用したサイクリストは今後把握できるようになる。今後集約していきたい。</td></tr>
</table>

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　スポーツ振興課

<table>
<tr><td colspan="8">基本目標（1）　人を惹きつける学びあふれるまち　　～地方への新しい人の流れをつくる～</td></tr>
<tr><td colspan="8">（イ）観光・イベント</td></tr>
<tr><td rowspan="5">主な重要業績評価指標
（KPI）</td><td colspan="7">ビーチスポーツ・マリンスポーツを通しての集客人数</td></tr>
<tr><td>積算方法</td><td colspan="6">~~ビーチバレー集客者数（大会通じて）~~
マラソン参加者数
マラソン沿道応援者数
マラソンボランティアスタッフ数</td></tr>
<tr><td>基準値</td><td>R1年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr>
<tr><td rowspan="3">7,874人
（R1年度）</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td></tr>
<tr><td></td><td>10,000人</td><td>10,000人</td><td>7,000人</td><td>7,000人</td><td>7,000人</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td></tr>
<tr><td>7,874人</td><td>0人</td><td>0人</td><td>3,904人</td><td>3,690人</td><td></td></tr>
<tr><td>目標値の変更</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td>KPI達成のために
行った事業（取り組み）</td><td colspan="6">感染症対策を十分に行ったうえで、コロナ禍前の水準の企画運営により、「ゆくはしシーサイドハーフマラソン2024」を開催できた。また今大会より、「ランニングクリニック」と題し、目標タイムを目指してランニングを始めるきっかけをつくり、大会に向けて楽しく無理なく練習を行うためのランニング教室を開催した。</td></tr>
<tr><td>事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み</td><td colspan="6">今後は、マラソン大会のみならず、様々なスポーツイベントを実施することで、市民スポーツの裾野拡大、健康増進に取り組みたい。また、地元企業との協働により、スポーツを通して地域の活性化に寄与できるよう、企画を立案したい。</td></tr>
<tr><td>推進本部会議で出た意見等</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
<tr><td>有識者会議での外部評価</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
</table>

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　　商業観光課

<table>
<tr><td colspan="8">基本目標（1）　人を惹きつける学びあふれるまち　　～地方への新しい人の流れをつくる～</td></tr>
<tr><td colspan="8">（イ）観光・イベント</td></tr>
<tr><td rowspan="5">主な重要業績評価指標
（KPI）</td><td colspan="7">市の観光PRポータルサイトのアクセス数</td></tr>
<tr><td>積算方法</td><td colspan="6">観光ポータルサイトのアクセス解析ツールを利用し、アクセス数を集計</td></tr>
<tr><td>基準値</td><td>R1年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr>
<tr><td rowspan="3">252,000PV
（H30年度）</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td></tr>
<tr><td></td><td>400,000PV</td><td>380,000PV</td><td>380,000PV</td><td>320,000PV</td><td>250,000回</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td></tr>
<tr><td>355,200PV</td><td>360,819PV</td><td>288,497PV</td><td>299,989PV</td><td>231,433回</td><td></td></tr>
<tr><td>目標値の変更</td><td colspan="6">指標のPV（ページビュー）数は、グーグルアナリティクスを用いて集計していましたが、令和5年7月よりグーグル側の仕様変更により、「PV数」が集計できなくなりました。代わりに「表示回数」を集計の指標とするため、単位を回と改めました。</td></tr>
<tr><td>KPI達成のために行った事業（取り組み）</td><td colspan="6">上記欄記載のように、グーグルアナリティクスの仕様変更がありました。「PV数」と「表示回数」ではデータ集計のやり方が違うため、別の指標としてとらえて、集計管理を行っていきたいと思います。別の指標ではありますが、令和5年度の実績値は、目標値を下回る結果となりました。今後につきましては、「ゆくゆくゆくはし」の記事を充実させる取り組みを行い、PRに努め、「表示回数」の増加に向けて取り組みます。</td></tr>
<tr><td>事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み</td><td colspan="6">「表示回数」を増やすため、新規ユーザーを増やし、サイト上での閲覧時間を増加させる必要があります。イベント情報や観光情報の掲載方法を工夫し、LINE連携を効果的に活用するなどの取り組みを行っていきたいと思います。</td></tr>
<tr><td>推進本部会議で出た意見等</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
<tr><td>有識者会議での外部評価</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
</table>

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　総合政策課

<table>
<tr><td colspan="8">基本目標（1）　人を惹きつける学びあふれるまち　～地方への新しい人の流れをつくる～
（ウ）移住・定住</td></tr>
<tr><td rowspan="6">主な重要業績評価指標
（KPI）</td><td colspan="7">行橋市への移住者数（京築除く）：累計195人（R2～R6）</td></tr>
<tr><td>積算方法</td><td colspan="6">各年（4/1～3/31）の住民基本台帳ベースでの
転入数－転出</td></tr>
<tr><td>基準値</td><td>R1年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr>
<tr><td rowspan="4">39人
（H30年度）</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td></tr>
<tr><td></td><td>39人</td><td>39人</td><td>39人</td><td>39人</td><td>39人</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td></tr>
<tr><td></td><td>▲191人</td><td>▲68人</td><td>358人</td><td>163人</td><td></td></tr>
<tr><td>目標値の変更</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td>KPI達成のために
行った事業（取り組み）</td><td colspan="6">（転入）　（転出）　（増減）
【全国】　3,513人　3,207人　306人
【京築除く】　2,690人　2,527人　163人

全国の移住情報が掲載されているポータルサイトに掲載をしてもらっている。東京交通会館内にあるふるさと回帰センターへ訪問し、行橋市の現状について説明し、移住希望者に対してのPRを依頼した。
また令和6年度は行橋市制施行70周年であるため、記念フェア、作品展示会を計画し、文化芸術になど行橋市の魅力を市内外に広くPRし、移住定住促進を図っていく。</td></tr>
<tr><td>事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み</td><td colspan="6">県や移住相談センター主催の移住イベントや勉強会に積極的に参加したい。また、転出数を少なくするために、移住支援策だけでなく市民に対する支援策を検討していきたい。</td></tr>
<tr><td>推進本部会議で出た意見等</td><td colspan="7">質：移住者数は目標から上振れしているが、現状はどのような状態か。
答：外国人移住者が増えているが、日本人でも生産年齢人口は増加、世帯数も令和4年度、令和5年度と増加している。外国人ではベトナム人が最多でほぼ就労者、続いて中国、フィリピンが多くこちらは永住者も多い。
質：関東からのU・Iターンをターゲットとしていると思うが、県内の取り合いが多いのではないか、目標値の設定の仕方はどう考えるか。
答：転入転出はほぼ、苅田町や北九州市が多い。目標設定は3次に向けて検証する。
質：ふるさと回帰センターに働きかけてそれが転入の理由は判断できないのではないか。
答：実績はない　KIP設定は検討する。</td></tr>
<tr><td>有識者会議での外部評価</td><td colspan="7">質：転入した人の進学・就職など背景は把握できているのか？
答：背景は把握できていないが、生産年齢人口の転入者の割合が多く、世帯数も増えている。家を建てる、子育てをするというときに選ばれているのだと判断している。
質：生産年齢人口の転入者が増えているということは、行橋市内の企業が雇用数を増やしていることや、新たな企業が行橋市に進出してきていることが考えられると思うが、新たな企業を誘致するための取組みはどうしているのか。
答：検討する部分はあるが、現在はオーダーメイド型の企業誘致を進めていきたいと考えている。</td></tr>
</table>

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　農林水産課

<table>
<tr><td colspan="8">基本目標（1）　人を惹きつける学びあふれるまち　～地方への新しい人の流れをつくる～</td></tr>
<tr><td colspan="8">（エ）農産物・水産物の開発・高付加価値化</td></tr>
<tr><td rowspan="6">主な重要業績評価指標
（KPI）</td><td colspan="7">新規就農者数</td></tr>
<tr><td>積算方法</td><td colspan="6">（～R3）行橋市農業次世代人材投資資金交付要綱に基づく農業次世代人材投資資金（経営開始型）を受給した者の数（積算累計値）
（R4～）行橋市新規就農者育成総合対策経営開始資金交付要綱に基づく新規就農者育成総合対策資金（経営開始型）を受給した者の数（積算累計値）
※第5次行橋市総合計画の目標値ベースを採用</td></tr>
<tr><td>基準値</td><td>R1年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr>
<tr><td rowspan="3">11人
（H30年度）</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td></tr>
<tr><td></td><td>累計14人</td><td>累計18人</td><td>累計18人</td><td>累計18人</td><td>累計22人</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td></tr>
<tr><td>累計13人</td><td>累計16人</td><td>累計16人</td><td>累計17人</td><td>累計18人</td><td></td></tr>
<tr><td>目標値の変更</td><td colspan="6">実績値が目標値に到達したため</td></tr>
<tr><td>KPI達成のために行った事業（取り組み）</td><td colspan="6">給付金に対する相談は計7件（市：7件）ありましたが、交付要件を満たす新規就農者が1名いました。
また、担い手部会が主催となり開催される関係機構（県・各市町村・JA）と連携した「就農・就業相談会in京築」では、7名の相談を受け付けましたが、直接の新規就農にまではつながりませんでしたが、就農希望者の意欲と理解を促進することになりました。</td></tr>
<tr><td>事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み</td><td colspan="6">受給には、現状と目標（5年後）を定めた就農計画を提出し市からの認定を受ける必要があります。目標年に、年間農業所得300万程度（給付金を除く）、年間総労働時間2,000時間程度を認定基準としており、目標の達成及び資金交付終了後の就農のステップアップが難しいものとなっています。今後も就農計画の目標達成に向け、市・県・JA等のサポートを引き続き行っていきます。</td></tr>
<tr><td>推進本部会議で出た意見等</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
<tr><td>有識者会議での外部評価</td><td colspan="7">要望：農業だけでなく林業、例えば椎茸に取り組む人も増えている。今後検討してほしい。</td></tr>
</table>

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　　文化課

<table>
<tr><td colspan="8">基本目標（1）　人を惹きつける学びあふれるまち　　～地方への新しい人の流れをつくる～</td></tr>
<tr><td colspan="8">（オ）まちなか活性化</td></tr>
<tr><td rowspan="6">主な重要業績評価指標
（KPI）</td><td colspan="7">行橋公募彫刻展への応募件数及びイベント参加者数</td></tr>
<tr><td>積算方法</td><td colspan="6">国際公募彫刻展に対する応募件数
イベント参加者数</td></tr>
<tr><td>基準値</td><td>H30年度</td><td>R1年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td></tr>
<tr><td rowspan="2">イベント参加者数
3,644人
（H30年度）</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>参加3,783人</td><td>参加1,400人</td><td>応募44件（R3実績値より確定）
参加3,100人</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td></tr>
<tr><td></td><td>参加3,644人</td><td>応募32件
参加1,235人</td><td>応募32件
参加442人</td><td>応募44件
イベント参加者
796人</td><td>応募44件
イベント参加者
394名</td><td></td></tr>
<tr><td>目標値の変更</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td>KPI達成のために行った事業（取り組み）</td><td colspan="6">本市で初めての取組みであり、多額の事業費を要してきたため、事業を進めるにあたり、賛成・反対様々な意見があった。本市の知名度向上や本格的な芸術作品に直接触れることができ、一定の成果があったが、R4年度をもって事業を終了することになった。また、事業内容についても、計画していた関連イベントを中止し、最小限の規模にとどめるに至った。</td></tr>
<tr><td>事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み</td><td colspan="6">多額の予算を投入してきた事業のため、事業終了と共に過去８年間の成果と課題を整理し、今後の文化事業の方針を検討していく必要がある。</td></tr>
<tr><td>推進本部会議で出た意見等</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
<tr><td>有識者会議での外部評価</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
</table>

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　　生涯学習課

<table>
<tr><td colspan="8">基本目標（1）　人を惹きつける学びあふれるまち　　～地方への新しい人の流れをつくる～</td></tr>
<tr><td colspan="8">（オ）まちなか活性化</td></tr>
<tr><td rowspan="6">主な重要業績評価指標
（KPI）</td><td colspan="7">図書館（複合施設）の利用客数</td></tr>
<tr><td>積算方法</td><td colspan="6">来館者数</td></tr>
<tr><td>基準値</td><td>R1年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr>
<tr><td rowspan="2">利用者数
190,406人
（R2年度）</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td></tr>
<tr><td></td><td>150,000人</td><td>来館者
200,000人
図書館貸出者
116,000人
託児施設利用者
3,000人</td><td>来館者
200,000人
図書館貸出者
116,000人
託児施設利用者
3,000人</td><td>来館者
231,000人
図書館貸出者
133,000人
託児施設利用者
3,900人</td><td>来館者
243,000人
図書館貸出者
133,000人
託児施設利用者
4,100人</td></tr>
<tr><td></td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td></tr>
<tr><td></td><td>図書館
58,047人
視聴覚10,020人</td><td>190,406人</td><td>来館者
179,854人
図書館貸出者
108,840人
託児施設利用者</td><td>来館者
228,066人
図書館貸出者
132,947人
託児施設利用者</td><td>来館者
241,894人
図書館貸出者
132,270人
託児施設利用者
4,084人</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>目標値の変更</td><td colspan="6">来館者及び託児施設利用者につきましては、目標値を達成したため、実績値を基に目標値を変更しました。</td></tr>
<tr><td></td><td>KPI達成のために行った事業（取り組み）</td><td colspan="6">新型コロナウイルス感染症の位置づけが、令和5年5月8日から「5類感染症」へ移行されたことにより、さまざまな事業を企画し、予定通りに実行できました。また、令和5年度から、児童生徒へ小中学校のタブレットを利用し、リブリオ行橋の情報発信を行いました。</td></tr>
<tr><td></td><td>事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み</td><td colspan="6">令和6年度も、さまざまな事業を計画し、リブリオ行橋の情報発信をすることにより、利用者数の増に繋がるよう取り組みます。また、図書の貸出者数が令和4年度に比べ減になっているため、読書活動のさらなる推進に取り組みます。</td></tr>
<tr><td>推進本部会議で出た意見等</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
<tr><td>有識者会議での外部評価</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
</table>

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　　総合政策課

<table>
<tr><td colspan="8">基本目標（1）　人を惹きつける学びあふれるまち　　～地方への新しい人の流れをつくる～</td></tr>
<tr><td colspan="8">（力）就労支援</td></tr>
<tr><td rowspan="6">主な重要業績評価指標
（KPI）</td><td colspan="7">ワーク・ライフ・バランスの啓発（セミナー回数・参加人数）</td></tr>
<tr><td>積算方法</td><td colspan="6">セミナー回数・参加人数の累計値</td></tr>
<tr><td>基準値</td><td>R1年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr>
<tr><td rowspan="3">11回・278人
（H30年度）</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td></tr>
<tr><td></td><td>累計17回・470人</td><td>累計16回・371人（2回・20</td><td>累計16回・371人（2回・20人）</td><td>累計19回・470人（4回・80人）</td><td>累計24回・632人（4回・80人）</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td></tr>
<tr><td>累計13回
333人</td><td>累計14回
351人</td><td>累計14回・351人（0回・0</td><td>累計15回・390人（1回・39人）</td><td>累計20回・552人（5回・162人）</td><td></td></tr>
<tr><td>目標値の変更</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td>KPI達成のために行った事業（取り組み）</td><td colspan="6">女性活躍推進の観点から、仕事と家庭の両立についての講演を5回開催した。募集人数を超える申込みがあり、参加者からの評判は大変好評であった。</td></tr>
<tr><td>事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み</td><td colspan="6">市民のニーズを的確に把握し、どのような内容・時間帯で講座を行うべきかを継続して検討していく必要がある。また、講座の開催の発信方法についても工夫していきたい。</td></tr>
<tr><td>推進本部会議で出た意見等</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
<tr><td>有識者会議での外部評価</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
</table>

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　　指導室

<table>
<tr><td colspan="8">基本目標（2）　子ども育みを支えるまち　　～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～</td></tr>
<tr><td colspan="8">（ア）教育</td></tr>
<tr><td rowspan="6">主な重要業績評価指標
（KPI）</td><td colspan="7">学校満足度調査「学校は安全に学べる環境であると思う・どちらかと言えばそう思う」
と回答した保護者の割合</td></tr>
<tr><td>積算方法</td><td colspan="6">年度末に行う学校評価における基礎資料となる
保護者アンケート結果から積算</td></tr>
<tr><td>基準値</td><td>R1年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr>
<tr><td rowspan="3">88%
（H30年度）</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td></tr>
<tr><td></td><td>90%</td><td>90%</td><td>90%</td><td>90%</td><td>95%</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td></tr>
<tr><td>90%</td><td>90%</td><td>89%</td><td>94.0%</td><td>91.2%</td><td></td></tr>
<tr><td>目標値の変更</td><td colspan="6">目標値を達成したため、さらに高い目標値に変更を行う。</td></tr>
<tr><td>KPI達成のために
行った事業（取り組み）</td><td colspan="6">年2回「学校評価アンケート」を保護者に実施し、保護者対象にアンケートを実施しました。回答率をあげるために児童生徒が使用しているipadを活用したり、保護者用（安全・安心）メールを活用して、保護者への周知を行いました。</td></tr>
<tr><td>事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み</td><td colspan="6">スクールカウンセラーの活用の内容及び方法について、今後、保護者にさらに分かりやすく周知する必要があると考えます。</td></tr>
<tr><td>推進本部会議で出た意見等</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
<tr><td>有識者会議での外部評価</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
</table>

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　　指導室

<table>
<tr><td colspan="8">基本目標（2）　子ども育みを支えるまち　　～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～</td></tr>
<tr><td colspan="8">（ア）教育</td></tr>
<tr><td rowspan="6">主な重要業績評価指標
（KPI）</td><td colspan="7">いじめ・不登校等の問題行動の予防プログラムの実践校</td></tr>
<tr><td>積算方法</td><td colspan="6">市内17校中の実施校数</td></tr>
<tr><td>基準値</td><td>R1年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr>
<tr><td rowspan="3">8校
（H30年度）</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td></tr>
<tr><td></td><td>10校</td><td>17校</td><td>17校</td><td>17校</td><td>17校</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td></tr>
<tr><td>10校</td><td>10校</td><td>17校</td><td>17校</td><td>17校</td><td></td></tr>
<tr><td>目標値の変更</td><td colspan="6">いじめや不登校などの問題行動の予防・対処法を取り上げた研修は年度内で複数回行われており、積算の対象が増えました。</td></tr>
<tr><td>KPI達成のために行った事業（取り組み）</td><td colspan="6">市主催の管理職研修会や担当者研修会を定期的に開催し、いじめ問題等へ対応に関する研修を実施しました。また、QU調査を年2回実施し、児童生徒の生活満足度等の調査を行いました。調査実施後は、大学教授やスクールカウンセラー等の専門家を活用した研修も実施しました。</td></tr>
<tr><td>事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み</td><td colspan="6">いじめ問題等は早期発見・早期対応が必要です。今後の研修内容を充実するとともに、外部の専門家等を積極的に活用し、未然防止及び早期発見に取り組んで参ります。</td></tr>
<tr><td>推進本部会議で出た意見等</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
<tr><td>有識者会議での外部評価</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
</table>

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　　総合政策課

<table>
<tr><td colspan="8">基本目標（2）　子ども育みを支えるまち　　～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～</td></tr>
<tr><td colspan="8">（イ）結婚</td></tr>
<tr><td rowspan="6">主な重要業績評価指標
（KPI）</td><td colspan="7">出会いのイベント参加者</td></tr>
<tr><td>積算方法</td><td colspan="6">出会いのイベント参加者の累計値</td></tr>
<tr><td>基準値</td><td>R1年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr>
<tr><td rowspan="3">5回・375人
（H30年度）</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td></tr>
<tr><td></td><td>50人</td><td>100人</td><td>20人</td><td>累計97人
（50人）</td><td>累計177人
（60人）</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td></tr>
<tr><td>累計6回
431人</td><td>0人</td><td>0人</td><td>47人</td><td>累計117人
（70人）</td><td></td></tr>
<tr><td>目標値の変更</td><td colspan="6">年間を通して、継続的にイベントの実施ができていることから目標値を上方修正します。</td></tr>
<tr><td>KPI達成のために
行った事業（取り組み）</td><td colspan="6">令和5年度より、福岡県出会い応援団体に登録し、県出会い・結婚応援事務局と協力し積極的にイベントを開催した。
〇7/8　夏婚（長井浜）　18人参加　4組成立
〇10/14　BBQ懇（ここのえ牧場）　30人参加　6組成立
〇2/23　カフェコン（赤レンガ館）　22人参加　3組成立</td></tr>
<tr><td>事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み</td><td colspan="6">出会いの場だけでなく、生活の場として行橋市を選んでもらえるよう行橋市の良さが伝わる会場・企画選択をする。</td></tr>
<tr><td>推進本部会議で出た意見等</td><td colspan="7">質：出会いイベントの目的は市外で出会う場を市内で出会い、定住してもらうことだ。
　　行橋市に住んでもらうとインセンティブを持たせるなどはしているのか。
答：イベントでは市のPRと定住をアピールしている。市内の店舗なども特典が受けられるよう取り組みたい。</td></tr>
<tr><td>有識者会議での外部評価</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
</table>

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　　子ども支援課

<table>
<tr><td colspan="8">基本目標（2）　子ども育みを支えるまち　　～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～</td></tr>
<tr><td colspan="8">（ウ）出産・子育て</td></tr>
<tr><td rowspan="6">主な重要業績評価指標
（KPI）</td><td colspan="7">3月1日時点での待機児童数</td></tr>
<tr><td>積算方法</td><td colspan="6">各年度3月1日時点での待機児童数</td></tr>
<tr><td>基準値</td><td>R1年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr>
<tr><td rowspan="3">130人
（H31.3.31時点）</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td></tr>
<tr><td></td><td>50人</td><td>90人</td><td>90人</td><td>90人</td><td>90</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td></tr>
<tr><td></td><td>160人</td><td>164人</td><td>163人</td><td>117人</td><td></td></tr>
<tr><td>目標値の変更</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td>KPI達成のために
行った事業（取り組み）</td><td colspan="6">・保護者へ希望以外の園を案内し、待機児童の減少に努めています。
・R4年度は2園で定員を増やし、合わせて80名増員しています。
・R5年度は1園で定員を増やし、20名増員しています。
・令和5年度の実績117人のうち、116人は私的待機で、国が定義する待機児童は1名でした。</td></tr>
<tr><td>事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み</td><td colspan="6">令和6年度から保育士配置基準が改正され、3歳児の保育士配置が20人に1人から15人に1人、4歳以上児の配置が30人に1人から25人に1人となりました。当分の間は従前の配置人数での運営が可能ですが、待機児童対策には保育士の確保が必要ですので、保育士の処遇改善を図るための施策を今後も続けていきます。</td></tr>
<tr><td>推進本部会議で出た意見等</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
<tr><td>有識者会議での外部評価</td><td colspan="7">質：保育士の確保についてどのような施策をしているのか。
答：独自に雇用している保育士の処遇改善手当を市と事業主で負担している。保育士になる方が減り、確保が厳しい。行橋市だけの問題ではないので補助などを活用して取り組んでいきたい。</td></tr>
</table>

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　　子ども支援課

<table>
<tr><td colspan="8">基本目標（2）　子ども育みを支えるまち　　～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～</td></tr>
<tr><td colspan="8">（ウ）出産・子育て</td></tr>
<tr><td rowspan="6">主な重要業績評価指標
（KPI）</td><td colspan="7">新規の子どもの居場所（遊び場）設置数</td></tr>
<tr><td>積算方法</td><td colspan="6">子どもの遊び場の確保数（新規設置）</td></tr>
<tr><td>基準値</td><td>R1年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr>
<tr><td rowspan="4">新規</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td></tr>
<tr><td></td><td>累計1か所</td><td>0か所</td><td>累計2か所</td><td>累計2か所</td><td>累計2か所</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td></tr>
<tr><td></td><td>累計1か所</td><td>0か所</td><td>0か所</td><td>0か所</td><td></td></tr>
<tr><td>目標値の変更</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td>KPI達成のために
行った事業（取り組み）</td><td colspan="6">令和5年度も、市内にある子育て支援センター（公設：1カ所、私設：5カ所）で組織する行橋子育て支援センター連絡協議会主催で未就学児の親子を対象としたイベントを実施しました。</td></tr>
<tr><td>事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み</td><td colspan="6">子育て支援拠点の設置について、引き続き園への声掛けを行っていきますが、保育士の配置が必要であるため、保育士確保についての課題も発生します。
現在、室内の子どもの遊び場設置にむけて準備を進めておりますので、他課での子どもの遊び場設置を含め、目標値を累計2箇所と設定します。</td></tr>
<tr><td>推進本部会議で出た意見等</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
<tr><td>有識者会議での外部評価</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
</table>

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　　子ども支援課

<table>
<tr><td colspan="8">基本目標（2）　子ども育みを支えるまち　　～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～</td></tr>
<tr><td colspan="8">（ウ）出産・子育て</td></tr>
<tr><td rowspan="6">主な重要業績評価指標
（KPI）</td><td colspan="7">ファミリーサポートセンター登録者数</td></tr>
<tr><td>積算方法</td><td colspan="6">子育ての支援を受けたい会員と子育ての支援を行いたい会員の
登録者数の総計</td></tr>
<tr><td>基準値</td><td>R1年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr>
<tr><td rowspan="3">212人
（H30年度）</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td></tr>
<tr><td></td><td>累計500名</td><td>累計450名</td><td>累計550名</td><td>累計550名</td><td>累計600名</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td></tr>
<tr><td>累計376名</td><td>累計401名</td><td>累計478名</td><td>累計511名</td><td>累計561名</td><td>.</td></tr>
<tr><td>目標値の変更</td><td colspan="6">R5年度目標値を達成したため</td></tr>
<tr><td>KPI達成のために
行った事業（取り組み）</td><td colspan="6">R5年度新規の登録者は66名（支援を受ける：61名、支援を行う：5名）
支援を受けたい会員、支援を行う会員ともに、利用時にアンケートを実施しておりますが、前年度に引き続き満足度は高い結果です。また、支援を行う会員は支援後に報告書を作成し、報告書には支援を受けたい会員から支援内容等の確認サインを得て、信頼関係の構築に努めております。
周知活動として、健診等でチラシを配布する、市報掲載等の活動を行いました。
また、令和4年度より子育て支援の充実を図るため、1時間無料券を配布しております。</td></tr>
<tr><td>事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み</td><td colspan="6">支援を行う会員は、支援を受けたい会員の4分の1程度です。支援を行う会員数を今後増やすにあたって、支援を受けたい会員を卒業した元会員（子供が小学生を卒業した方）へ、支援を行う会員への勧誘を積極的に行っていきます。また、当事業の魅力を多くの人に知って頂くための情報発信の方法を検討していきます。</td></tr>
<tr><td>推進本部会議で出た意見等</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
<tr><td>有識者会議での外部評価</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
</table>

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　子ども支援課

基本目標（2）　子ども育みを支えるまち　～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～							
（ウ）出産・子育て							
主な重要業績評価指標（KPI）	乳児家庭全戸訪問件数の割合						
	積算方法	出生数に対する訪問数の割合					
	基準値	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	99% （H30年度）	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			100%	99%	100%	100%	100%
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		102%	84%	95%	100.0%	100.0%	
	目標値の変更						
	KPI達成のために行った事業（取り組み）	R5年度の全対象戸数485件（当市で訪問481件、里帰り先の自治体に依頼4件）すべての世帯に訪問を実施しました。全戸訪問アンケートにおいて、96.4%の方が訪問を受けてよかったと回答し、話を聞いてもらえた38.9%、気持ちが楽になった11.1%との回答がありました。 また、全戸訪問時に育児不安がある方や支援を必要としている方については、4ヶ月児健診までの間に、地区担当保健師が再度訪問するなどして対応しました（実件数6件、延件数8件）。					
	事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み	R5年度より母子モアプリを活用し、全戸訪問前にアンケートに回答いただき、訪問時には子どもの出生時の様子だけでなく、母の気持ちを把握できるようになりました。今後はその情報を生かして、さらに母に寄り添った対応ができるように心がけたいと思います。					
推進本部会議で出た意見等	特になし						
有識者会議での外部評価	特になし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　子ども支援課
学校管理課

<table>
<tr><td colspan="8">基本目標（2）　子ども育みを支えるまち　　～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～</td></tr>
<tr><td colspan="8">（エ）就労支援</td></tr>
<tr><td rowspan="6">主な重要業績評価指標
（KPI）</td><td colspan="7">子どもの預かり制度の利用者数</td></tr>
<tr><td>積算方法</td><td colspan="6">アンファン利用者、児童クラブ利用者
アンファン：R2 991人 R3 200人 R4 200人　R5　700 人 R6 1200人
児童クラブ：R2 13,008人 R3 13,488人 R4 12,000人　R5 12,000人 R6 12,000人</td></tr>
<tr><td>基準値</td><td>R1年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr>
<tr><td rowspan="3">12,472人
（H30年度）</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td></tr>
<tr><td></td><td>13,999人</td><td>13,688人</td><td>12,200人</td><td>12,700人</td><td>13,200人</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td></tr>
<tr><td>13,105人</td><td>11,724人</td><td>11,071人</td><td>11,206人</td><td>12,561人</td><td></td></tr>
<tr><td>目標値の変更</td><td colspan="6">アンファン利用者数R5 700人、R6 1200人に変更（実績による）</td></tr>
<tr><td>KPI達成のために
行った事業（取り組み）</td><td colspan="3">【子ども支援課】　1185人
新規で入園する児童に対してチラシを配布し、制度の周知を行いました。</td><td colspan="3">【学校管理課】　11376人
25施設の運用を民間に委託しており、民間活力（ノウハウ等）を活用、サービスの向上を図りました。令和5年度は令和6年度4月からの事業者更新（直営児童クラブについて）のためプロポーザル方式による業務委託手続きを行いました。今後更なる行政サービスの向上等を目指します。</td></tr>
<tr><td>事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み</td><td colspan="3">【子ども支援課】
令和5年度から利用料の無償化が始まり、利用希望者の増加の一因となっております。今後、利用実績の推移によっては受け入れ体制の整備が必要と考えます。</td><td colspan="3">【学校管理課】
毎年利用者アンケートを行っております。各事業者へ利用者の声をフィードバックしており、課題等の洗い出しやサービス向上に努めました。今後も引き続き利用者満足度の向上を図ります。
令和5年度も利用希望者が多く、待機児童が発生しましたが、年内には解消しました。夏休み利用を見こした年度当初からの利用も多いため、夏休みの児童受入れ強化を行い、通年を通した待機児童解消を目指します。</td></tr>
<tr><td>推進本部会議で出た意見等</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
<tr><td>有識者会議での外部評価</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
</table>

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　商業観光課

<table>
<tr><td colspan="8">基本目標（3）　学びが仕事へ、仕事が子どもたちの学びへつながるまち　～地方における安定した雇用を創出する～</td></tr>
<tr><td colspan="8">（イ）就労・創業支援</td></tr>
<tr><td rowspan="5">主な重要業績評価指標
（KPI）</td><td colspan="7">起業相談件数</td></tr>
<tr><td>積算方法</td><td colspan="6">市役所及び商工会議所への相談件数の合計（累計値）</td></tr>
<tr><td>基準値</td><td>R1年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr>
<tr><td rowspan="3">69件
（H30年度）</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td></tr>
<tr><td></td><td>60件
（初年度）</td><td>累計120件
（内60件）</td><td>累計180件
（内60件）</td><td>累計240件
（内60件）</td><td>累計300件
（内60件）</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td></tr>
<tr><td>累計71件</td><td>9件
（初年度）</td><td>累計25件
（内16件）</td><td>累計52件
（内27件）</td><td>累計75件
（内23件）</td><td></td></tr>
<tr><td>目標値の変更</td><td colspan="6">令和5年度報告時において、実績値に合わせて目標値を変更していたが、目標値を一定化し実績値と比較することで事業の効果が検証できると判断したため、目標値を再度変更した。（毎年度【相談件数：60件】）</td></tr>
<tr><td>KPI達成のために
行った事業（取り組み）</td><td colspan="6">相談窓口を市役所商業観光課及び行橋商工会議所に設けており、伴走型の経営指導や企業相談等を、商工会議所の経営指導員5名、補助員2名の計7名で対応している。（平日8：30～17：00）
相談件数の実績値は、商工会議所において相談があった件数。
また、起業セミナーを開催し、参加者に対し相談受付の周知を行った。</td></tr>
<tr><td>事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み</td><td colspan="6">セミナーの開催及び相談受付の周知方法が難しいことが課題。（現時点では市報とホームページとセミナーでの紹介のみ）
商工会議所と連携し、必要な情報が起業に興味のある方へより届くように協議を行っていきたい。</td></tr>
<tr><td>推進本部会議で出た意見等</td><td colspan="7">質：相談件数があるが起業に結び付いたものはあるか。
答：増加傾向ではないが数件ある。</td></tr>
<tr><td>有識者会議での外部評価</td><td colspan="7">質：相談内容・業種・事業などはどのようなものか。
答：業種は把握できていない。起業・創業支援は検討する必要がある。</td></tr>
</table>

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　農林水産課・商業観光課

基本目標（3） 学びが仕事へ、仕事が子どもたちの学びへつながるまち　～地方における安定した雇用を創出する～

（ウ）農産物・水産物の開発・高付加価値化

<table>
<tr><td rowspan="8">主な重要業績評価指標
（KPI）</td><td colspan="7">農林水産業の新規の従事者数</td></tr>
<tr><td>積算方法</td><td colspan="6">「ゆくはしブランド」の商品に携わる新規の従事者数（累計値）</td></tr>
<tr><td>基準値</td><td>R1年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr>
<tr><td rowspan="3">15人
（H30年度）</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td></tr>
<tr><td></td><td>累計16人
（年度内1人）</td><td>累計16人
（年度内1人）</td><td>累計16人
（年度内1人）</td><td>累計16人
（年度内1人）</td><td>累計15人
（年度内0人）</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td></tr>
<tr><td>累計15人</td><td>累計15人</td><td>累計15人
（年度内0人）</td><td>累計15人
（年度内0人）</td><td>累計15人
（年度内0人）</td><td></td></tr>
<tr><td>目標値の変更</td><td colspan="6">累計の実績値を令和6年度目標値に変更</td></tr>
<tr><td>KPI達成のために
行った事業（取り組み）</td><td colspan="6">目標値では、第1期総合戦略における地方創生推進交付金を活用した、水産品加工事業者の従事者数増加を計測しておりましたが、交付金を活用して開発した商品が販売終了となり、今後は当初目標とした計画通りの増加が見込まれない状況であります。
農業分野におきましては、地元の果物等を製品化に適した原料に加工する取り組みは行われておりますが、6次化の代表例となるような取り組みはありません。しかし、若手事業者の中には、生産・加工・販売までを一貫して取り組んでいる例もあり、今後支援を継続していきたいと思います。</td></tr>
<tr><td>事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み</td><td colspan="6">今後も特産品をPRする取り組みを継続しながら、売上を増加させるような、販売促進につながる取り組みが必要だと考えます。</td></tr>
<tr><td>推進本部会議で出た意見等</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
<tr><td>有識者会議での外部評価</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
</table>

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　農林水産課

基本目標（3） 学びが仕事へ、仕事が子どもたちの学びへつながるまち　～地方における安定した雇用を創出する～							
（ウ）農産物・水産物の開発・高付加価値化							
主な重要業績評価指標（KPI）	行橋市魚市場の取扱量						
	積算方法	公設卸売市場の年間取扱量 第5次行橋市総合計画の目標値ベースを採用					
	基準値	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	1,484トン （H30年度）	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			1,850トン	1,400トン	1,500トン	1,000トン	800トン
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		1.838トン	1,140トン	1,415トン	833トン	444トン	
	目標値の変更	取扱量が激減したことによる影響は短期間で回復は見込めないため、目標値を800トンとする。					
	KPI達成のために行った事業（取り組み）	魚市場の毎月の報告で実績を出している。市場施設の維持整備や修繕に取り組んでいるが、水産資源の減少に加え、気候変動に伴う海水温の上昇や市場外取引の増加により取扱量が減少している。					
	事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み	全国的に不漁が続いているが、取扱可能なものにおいては、引き続き販路拡大により取扱量を増やしていきたいと考えている。					
推進本部会議で出た意見等	質：取扱量が減っている原因は水産資源の減少なのか、漁師の減少なのか 答：漁師も水産資源も減っている。仲買人が減少していることも原因の一つ。						
有識者会議での外部評価	特になし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　商業観光課・農林水産課

基本目標（3）　学びが仕事へ、仕事が子どもたちの学びへつながるまち　～地方における安定した雇用を創出する～

（ウ）農産物・水産物の開発・高付加価値化

<table>
<tr><td rowspan="6">主な重要業績評価指標
（KPI）</td><td colspan="7">水産加工品（牡蠣）の売上</td></tr>
<tr><td>積算方法</td><td colspan="6">加工品開発した牡蠣の年間の売上高</td></tr>
<tr><td>基準値</td><td>R1年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr>
<tr><td rowspan="3">600千円
（H30年度）</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td></tr>
<tr><td></td><td>1,000千円</td><td>800千円</td><td>1,000千円</td><td>2,000千円</td><td>4,500千円</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td></tr>
<tr><td>800千円</td><td>560千円</td><td>1,700千円</td><td>0千円</td><td>4,250千円</td><td></td></tr>
<tr><td>目標値の変更</td><td colspan="6">（R5年度より）カキ小屋での牡蠣加工品の年間売上高</td></tr>
<tr><td>KPI達成のために
行った事業（取り組み）</td><td colspan="6">令和5年度より、開発した牡蠣加工品の売上から目標値を変更して、市内カキ小屋（2店舗）の牡蠣加工品の売上をKPIとしております。行橋市特産の「豊前海一粒カキ」の魅力をPRするために、観光ガイドブック「旅する、ゆくはし」への掲載や、博多大丸でのRR出展、航空祭等で来場者へ情報発信を行いました。</td></tr>
<tr><td>事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み</td><td colspan="6">「豊前海一粒カキ」と同様に牡蠣加工品の売上高も増加させるため、ホームページでの情報発信やメディアでの紹介等、PR活動を積極的に実施します。</td></tr>
<tr><td>推進本部会議で出た意見等</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
<tr><td>有識者会議での外部評価</td><td colspan="7">質：釣り客にボード貸し出しなどして売り上げ向上を図るのはどうか。
答：釣りを活用した観光業となる。漁師の減少、高齢化、物価高騰など漁業における課題もあり、販路の確保などサポートも重要と考えている。漁港の整備はその支援であるため、観光業としては制約も出て来る。
質：牡蠣の加工品とは何を指しているのか。
答：簑島の直売所2ヶ所で販売している牡蠣フライ・牡蠣の佃煮・牡蠣の糠炊き・牡蠣飯・ボイル牡蠣を指している。</td></tr>
</table>

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　　秘書課

<table>
<tr><td colspan="8">基本目標（4）　地域を支えあい、交流しあうまち ～時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する～
（ウ）共助社会</td></tr>
<tr><td rowspan="8">主な重要業績評価指標
（KPI）</td><td colspan="7">市ホームページ等の広報閲覧数</td></tr>
<tr><td>積算方法</td><td colspan="6">①市ホームページ閲覧数の月平均
~~②市内からのホームページアクセス割合~~
③行橋市公式~~Facebook~~、Instagramのフォロワー数、LINEの登録者数</td></tr>
<tr><td>基準値</td><td>R1年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr>
<tr><td rowspan="4">新規</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td></tr>
<tr><td></td><td>①235,000PV
②市内割合8%
③累計6,000件</td><td>①406,270PV
~~②市内割合
11.97%~~
③累計18,375件</td><td>①460,000PV
③累計30,000件</td><td>①700,000PV
③累計33,000件</td><td>①400,000回
③累計35,000件</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td></tr>
<tr><td></td><td>①433,309PV
②市内割合
10.56%
③累計
14,206件</td><td>①444,685PV
③累計
25,893 件</td><td>①649,631PV
③累計31,074件</td><td>①314,321回
（アナリティクスの変更により、PV数→表示回数に変更）
③32,865件
（Facebook含）</td><td></td></tr>
<tr><td>目標値の変更</td><td colspan="6">①に関して、Googleアナリティクスの仕様が変わり、PV数が表示回数に変更されたため、単位を「回」とした。
③Facebookは事実上閉鎖となっているため、R6目標値の累計から除外した。</td></tr>
<tr><td>KPI達成のために
行った事業（取り組み）</td><td colspan="6">①リニューアルしたHPをより良くするため、広報基本方針や業務マニュアルに基づき、「脱アリバイ広報」「職員全員が広報担当」を目指し、職員への周知、HP記事パトロールの強化を行った。
③LINEでは、HPのCMSとの連携していることから、窓口等でのお友達登録の勧誘、セグメント登録の推進を図り、積極的なLINE配信を全庁的に促した。また、Instagramでは、市内のお店やイベント等を取材し、静止画だけでなく動画を積極的に配信することで、再生回数及びフォロワーを増やすことができた。</td></tr>
<tr><td>事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み</td><td colspan="6">HPの記事について、作成者の意識や技量でばらつきがあり、また特に大雨などの災害時には、情報発信の遅延は市民の命に関わるため、全職員が広報担当としてHPの更新が行えるよう、継続的に研修を行うなどして職員の意識向上に努め、市民が情報をより早く正確に受け取れるようにする。
また、LINEやInstagramのフォロワーを増やすため、窓口やイベント会場等での周知を徹底し、様々なSNSを活用した情報発信にも力を入れる。
コロナ禍ではHPのアクセス数が急増していたが、R5年度は前年度の半分程度に減ってしまっていることから、SNSとの連携を活用し、HP上の詳細情報へのアクセスが容易にできる仕組みをつくっていきたい。</td></tr>
<tr><td>推進本部会議で出た意見等</td><td colspan="7">質：他自治体と比較はしているのか。
答：同規模では比較していない。他のデータとも比較したい。</td></tr>
<tr><td>有識者会議での外部評価</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
</table>

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　　総合政策課

<table>
<tr><td colspan="8">基本目標（4） 地域を支えあい、交流しあうまち ～時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する～
（ウ）共助社会</td></tr>
<tr><td rowspan="8">主な重要業績評価指標
（KPI）</td><td colspan="7">多言語対応型生活・住環境アプリダウンロード数</td></tr>
<tr><td>積算方法</td><td colspan="6">R1に開発した多言語対応型生活・住環境アプリのダウンロード数
（日本人・外国人問わず）</td></tr>
<tr><td>基準値</td><td>R1年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr>
<tr><td rowspan="3">新規</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td></tr>
<tr><td></td><td>100件</td><td>累計209件
（50件）</td><td>累計1321件
（100件）</td><td>累計1600件
（175件）</td><td>累計1800件
（200件）</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td></tr>
<tr><td></td><td>累計159件</td><td>累計1221件
（1062件）</td><td>累計1425件
（204件）</td><td>累計1599件
（174件）</td><td></td></tr>
<tr><td>目標値の変更</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td>KPI達成のために
行った事業（取り組み）</td><td colspan="6">転入してこられた方へ当アプリのPRを行い、ダウンロードを促している。
地域ごとで異なるごみ収集日の情報など格納し、利便性向上を図っている</td></tr>
<tr><td>事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み</td><td colspan="6">投稿機能が活用されていないため、他市の実績を参考に利用者を増加させる方法を検討する。アプリにはスタンプラリーやパスポート機能もあるため、コンテンツを充実させてダウンロード数増加を図りたい。</td></tr>
<tr><td>推進本部会議で出た意見等</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
<tr><td>有識者会議での外部評価</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
</table>

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　　介護保険課

基本目標（4）　地域を支えあい、交流しあうまち ～時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する～							
（ウ）共助社会							
主な重要業績評価指標（KPI）	見守りの連携企業数						
	積算方法	見守りの企業連携数の累計値					
	基準値	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	9団体（H30年度）	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			累計 11団体（内1団体）	累計 12団体（内1団体）	累計 13団体（内2団体）	累計 15団体（内1団体）	累計 16団体（内1団体）
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		累計 10団体	累計 11団体（内1団体）	累計 11団体（内0団体）	累計 14団体（内3団体）	累計 15団体（内1団体）	
	目標値の変更						
	KPI達成のために行った事業（取り組み）	令和5年度は、働き掛けにより1社と協定を締結することができました。					
	事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み	独居高齢者が増加しており、特に男性の方が顕著です。そのことから、今後も見守り活動の必要性は高いものと思われます。そのため、今年度においても、企業等に働きかけを実施し、協定が締結できるよう努めて参ります。					
推進本部会議で出た意見等	特になし						
有識者会議での外部評価	特になし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　　生涯学習課

<table>
<tr><td colspan="8">基本目標（4）　地域を支えあい、交流しあうまち ～時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する～
（ウ）共助社会</td></tr>
<tr><td rowspan="6">主な重要業績評価指標
（KPI）</td><td colspan="7">椿市地域交流センター
年間施設利用者数</td></tr>
<tr><td>積算方法</td><td colspan="6">公民館機能部分の利用者数と小売コーナー及びカフェの利用者数の合計値</td></tr>
<tr><td>基準値</td><td>R1年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr>
<tr><td rowspan="3">20,612人
（H30年度）</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td><td>目標値</td></tr>
<tr><td></td><td>24,000人</td><td>21,400人</td><td>21,400人</td><td>21,400人</td><td>15,000人</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td><td>実績値</td></tr>
<tr><td>23,872人</td><td>7,457人</td><td>12,449人</td><td>16,388人</td><td>14,405人</td><td></td></tr>
<tr><td>目標値の変更</td><td colspan="6">R4、R5年度の実績値を基に目標値を変更</td></tr>
<tr><td>KPI達成のために
行った事業（取り組み）</td><td colspan="6">令和3年度より指定管理者制度を導入し、地域住民により組織された法人が管理することとなった。その結果、地元とともに開催した、夏祭りやクリスマスイルミネーションなどは、多くの人で賑わい、指定管理者制度のメリットを生かす施設の管理運営ができた。
また、カフェメニューでは、猪肉をつかったジビエカレーを用意し、好評であった。</td></tr>
<tr><td>事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み</td><td colspan="6">指定管理者制度の導入から4年目を迎えるが、指導・助言を要することもあるため、今後は自立した管理運営を行えるようこれまで同様に連携を図っていく。</td></tr>
<tr><td>推進本部会議で出た意見等</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
<tr><td>有識者会議での外部評価</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
</table>

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課　防災危機管理室

基本目標（4）　地域を支えあい、交流しあうまち ～時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する～							
（ウ）共助社会							
主な重要業績評価指標（KPI）	防災知識の普及啓発						
	積算方法	年間での啓発活動開催回数の累計値					
	基準値	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	新規	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			20回	40回	60回	80回	55回
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
			4回（実績4回）	18回（実績14回）	25回（実績7回）	38回（実績13回）	
	目標値の変更						
	KPI達成のために行った事業（取り組み）	区長会や民生委員会議、校長会等の機会をとらえて、防災講話の実施についてPRを行ってきた。また、市ホームページ（防災危機管理室）において、防災講話の案内を発信している。 実績としては、区長会、女性学級、小中学校等での防災講話を実施している。					
	事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み	各種団体に対して幅広く防災講和等の機会を提供したい。その中で特に市内の小中学校に対して、防災意識向上を図るための対応を強化していく。					
推進本部会議で出た意見等	特になし						
有識者会議での外部評価	特になし						